

2011年5月10日

各位

株式会社電通国際情報サービス

ISiD、東光の次期グローバル会計システムを受注
～SAP クラウドサービス「BusinessACXEL for SAP ERP」により
短期導入、グローバルビジネス強化を支援～

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、資本金:81億8,050万円、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISiD)は、東光株式会社(本社:埼玉県鶴ヶ島市、代表取締役社長:川津原 茂、以下東光)の次期グローバル会計システムとして、ISiD が提供する SAP クラウドサービス「BusinessACXEL for SAP ERP(以下 BusinessACXEL)」が採用されたことを発表いたします。本システムは2011年8月に東光本社での本稼働を開始し、以後海外拠点へ順次展開していく予定です。

■背景■

東光は、コイルで世界トップクラスのシェアを誇る電子部品のリーディングカンパニーです。海外売上比率が70%を超え、多くの海外子会社を擁する東光は、従来の会計システムのリプレースを契機として、グローバルで利用可能な基幹システムの構築を決定しました。IFRS(国際財務報告基準)対応と内部統制制度の拡充、決算の早期化に寄与できる基幹システムを条件として、複数のパッケージソフトを比較検討した結果、ISiD の「BusinessACXEL」が採用されました。

■「BusinessACXEL」採用のポイント■

(1) SAP ERP を核としたグローバル ERP サービス、万全のIFRS 対応

IFRS 対応に際しては、複数会計基準での帳簿管理や機能通貨^{※1}への対応が求められます。「BusinessACXEL」では、複雑な設定作業を行うことなくSAP ERP のIFRS 対応機能が利用できるよう、ISiD 独自の導入テンプレートがあらかじめ用意されています。また勘定科目や経営指標の統一など、IFRS 対応のポイントを熟知したコンサルタントによる導入支援サービスが提供できる点も評価されました。

(2) 連結決算システム「STRAVIS」との連携による連結決算早期化

「BusinessACXEL」は約400社への導入実績を誇るISiDの連結決算システム「STRAVIS(ストラビス)」との自動連携機能を備えています。「STRAVIS」のユーザーである東光では、

「BusinessACXEL」の導入により連結データ収集業務のさらなる迅速化・効率化が実現できる点が高く評価されました。

(3) 短期間かつ効果的な海外展開を支援する、独自の導入手法

ISID 独自の SAP 導入手法であるグローバル・ロールアウト・ストラテジー※²により、勘定科目・業務プロセスを含むグローバルでの業務標準化と、クラウドベースでのグローバル統一会計システムの短期構築を両立できることが評価されました。

<東光株式会社 経理財務部長 梶野 慎様のコメント>

東光は、全世界のお客様に最適なソリューションを提供する為に、グローバルな販売・生産体制を展開しています。市場、顧客、地域、製品の一体運用に基づくお客様の視点に立ったグローバルな思考に加え、開発設計力、生産体制を含めた総合力の高さが世界のお客様に高く評価され、東光ブランドの浸透につながっているものと考えます。また、東光の事業環境を支えて頂いている全ての皆様の為にも、より迅速により透明性のある開示を心がけていく事が必要と考えます。このような観点が、ISID ご提案による BusinessACXEL の持つ機能と合致したことにより、早期導入を図り、詳細な情報を早く、正確にご提供していく所存です。

ISID では「CLOUDiS(クラウドィス)」のブランド名で様々な企業向けクラウドサービスを展開しています。「BusinessACXEL」は、アジア初の SAP クラウドサービスとして 2010 年に提供を開始しました。今後も本サービスを核として基幹業務システムのクラウド提供に積極的に取り組み、企業のグローバルビジネス拡大に貢献してまいります。

※1 機能通貨: 決算書情報作成時の外貨換算に際して IFRS が採用している概念で、「企業が営業活動を行う主要な経済環境で用いられ、キャッシュ・フローをもたらす通貨」と定義される。その国で流通している通貨とは別に、主要な経済活動に用いている通貨が何かを検討した上で換算に使う為替レートを決定する考え方で、どれを機能通貨とするかは各企業が判断する。現地通貨から自国通貨への換算のみを想定している日本基準とアプローチが大きく異なることから、IFRS 対応の留意点の一つとされている。

※2 グローバル・ロールアウト・ストラテジー: 海外展開に特化した、ISID 独自の SAP 導入手法。共通化フェーズにて勘定科目コードの統一等を実施し、展開フェーズでは複数会社同時展開を効率的に行う。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス ビジネスソリューション事業部 BS 事業推進部
TEL: 03-6713-7100 E-mail: g-erpinfo@isid.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 経営企画室 広報担当 李
TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@isid.co.jp

「BusinessACXEL for SAP ERP」について

「BusinessACXEL for SAP ERP」は、ISiDデータセンター内のサーバ環境に導入されたSAP ERPを、ネットワーク経由で月額利用料形式にてご利用頂くサービスです。この月額費用には、SAPソフトウェアのライセンス費用・保守費用、サーバ等のシステムインフラ利用・運用費用、サポート費用などが含まれており、お客様側でのシステム運用負荷を大幅に低減する事が可能です。また、システム導入に際しては、ISiDソリューションを組み合わせたテンプレートをご用意しており、短期間での導入を実現いたします。(<http://www.isid.co.jp/acxel/>)

「CLOUDiS」について

「CLOUDiS」は、ISiDグループが提供するクラウドサービスのブランド名です。企業の経営戦略に基づいたコンサルティングから、Force.com や AWS などのパブリッククラウド、企業内のプライベートクラウド、それらを組み合わせたハイブリッドクラウド上でのシステム構築、さらには各種 SaaS の提供まで、お客様のニーズに応じて様々なメニューを展開しています。(<http://www.isid.co.jp/solution/cloudisiaas.html/>)

<東光 会社概要>

社名 : 東光株式会社
代表者 : 代表取締役社長 川津原 茂
本社 : 埼玉県鶴ヶ島市大字五味ヶ谷 18 番地
U R L : <http://www.toko.co.jp/>
設立 : 1955 年
資本金 : 164 億 46 百万円
連結従業員 : 11,354 名(2010 年 12 月 31 日現在)
連結売上高 : 274 億 7700 万円(2010 年 12 月期)
事業内容 : 1955 年に世界初のトランジスタラジオ用 IFT を開発し、社会に必要とされる電子部品の専門メーカーとして、半世紀以上電子産業の発展に大きく貢献。現在は事業領域を Power と RF の分野に集中し、コイル製品事業を中核とした技術をより一層深化させ、コイル関連製品・モジュール製品・電子セラミック製品の開発・生産・販売をグローバルに展開。

<電通国際情報サービス (ISiD) 会社概要>

社名 : 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISiD)
代表者 : 代表取締役社長 釜井 節生
本社 : 東京都港区港南 2-17-1
U R L : <http://www.isid.co.jp/>
設立 : 1975 年
資本金 : 81 億 8,050 万円
連結従業員 : 2,320 人(2010 年 3 月 31 日現在)
連結売上高 : 611 億 5,500 万円(2010 年 3 月期)
事業内容 : 1975 年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したトータルソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、金融機関向けソリューション、製品開発ソリューションをはじめ、グループ経営/連結会計、HRM(人事・給与・就業)、ERP、マーケティング、クラウドサービスなど、幅広い分野で積極的な事業展開を図っております。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。